



KOURAKUEN  
HOLDINGS



平成 29 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社 幸楽苑ホールディングス  
代表者の役職名 代表取締役社長 新井田 傳  
(東証第一部 コード番号 7 5 5 4 )  
問い合わせ先 専務取締役 武田 典久  
T E L 0 2 4 - 9 4 3 - 3 3 5 1  
<http://www.kourakuen.co.jp/>

## 連結子会社との合併(簡易合併・略式合併)に関するお知らせ

平成 29 年 11 月 10 日開催の当社取締役会において、平成 30 年 3 月 1 日を効力発生日として、当社の完全子会社である株式会社スクリーンを吸収合併（以下、「本合併」といいます。）することを決議いたしましたので、お知らせ申し上げます。

なお、本合併は、当社 100%出資の連結子会社を対象とする吸収合併であるため、開示事項及び内容の一部を省略して開示しております。

### 記

#### 1. 合併の目的

株式会社スクリーンは、広告代理店業、広告用印刷物の制作・販売業務を主に行っておりましたが、当社グループ全体の更なる経営資源の有効活用や業務の効率化を図るとともに、経営効率の改善と長期的かつ安定的な企業価値の向上を図ることを目的として、本合併をすることといたしました。

#### 2. 合併の要旨

##### (1) 合併の日程

取締役会決議日	平成 29 年 11 月 10 日
合併契約締結日	平成 29 年 11 月 24 日 (予定)
合併期日(効力発生日)	平成 30 年 3 月 1 日 (予定)

本合併は、当社においては会社法第 796 条第 2 項に定める簡易合併の手続きにより、株式会社スクリーンにおいては会社法第 784 条第 1 項に定める略式合併の手続きにより、それぞれ株主総会の承認を得ずに行うものであります。

##### (2) 合併の方式

当社を存続会社、株式会社スクリーンを消滅会社とする吸収合併方式で、株式会社スクリーンは効力発生日をもって解散いたします。

##### (3) 合併に係る割当ての内容

株式会社スクリーンは、当社の 100%出資の連結子会社であるため、本合併に際して一切の対価の交付はありません。

##### (4) 消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

株式会社スクリーンは、新株予約権及び新株予約権付社債を発行していないため、該当事項はありません。

3. 合併当事会社の概要（平成 29 年 3 月 31 日現在）

	存続会社	消滅会社
(1) 名 称	株式会社幸楽苑ホールディングス	株式会社スクリーン
(2) 所 在 地	福島県郡山市 田村町上行合字北川田 2 番地 1	福島県郡山市 田村町上行合字北川田 2 番地 1
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 新井田 傳	代表取締役社長 新井田 昇
(4) 事 業 内 容	飲食店の運営・管理	広告代理店業、広告用印刷物の制作・販売
(5) 資 本 金	2,988 百万円	50 百万円
(6) 設 立 年 月 日	昭和 45 年 11 月	平成 15 年 1 月
(7) 発 行 済 株 式 数	16,774,841 株	1,000 株
(8) 決 算 期	3 月 31 日	3 月 31 日
(9) 大株主及び持株比率	% (株)ニイダホールディングス 16.3 日東富士製粉(株) 2.9 (株)東邦銀行 2.6 アサヒビール(株) 2.2 幸楽苑従業員持株会 2.2	% (株)幸楽苑ホールディングス 100.0
(注) 株式会社幸楽苑ホールディングスは、自己株式(1,715,427 株)を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。また、株式会社幸楽苑ホールディングスの持株比率については、自己株式(1,715,427 株)を控除して算出しております。		
(10) 直前事業年度の財政状態及び経営成績		
	株式会社幸楽苑ホールディングス (連結)	株式会社スクリーン (単体)
決算期	平成 29 年 3 月期	平成 29 年 3 月期
	百万円	百万円
純 資 産	7,185	119
総 資 産	23,886	268
1 株当たり純資産	483.13 円	119,683 円
売 上 高	37,803	810
営 業 利 益	147	85
経 常 利 益	330	85
(親会社株主に帰属する) 当 期 純 利 益	154	56
1 株当たり当期純利益	9.91 円	56,367 円

4. 合併後の状況

本合併による当社の名称、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金及び決算期の変更はありません。

5. 今後の業績に与える影響

本合併は、当社と当社 100%出資の連結子会社との合併であるため、当社連結業績への影響は軽微であります。

なお、本日（平成 29 年 11 月 10 日）「特別損失の計上、第 2 四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正、剰余金の配当（中間）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。

以 上